

夏だ！プールだ！楽しさ全開！

砂沼サンビーチ



PCサイト

今年の「砂沼サンビーチ」は、8月31日(水)まで開園します。

下妻市民入場無料デーやお楽しみ抽選会も開催されます。楽しい夏の思い出づくりに、ご家族皆さままでお出かけください。

【営業時間】午前9時～午後5時
※ただし、土・日曜日、8月13～16日は、午前8時30分～午後5時

■入場料金		
	普通料金	割引料金
大人	1,100円	880円
小中学生	500円	400円
幼児(3歳以上)	300円	240円

※団体25人以上で割引料金
※障がい者手帳をお持ちの方は割引料金となりますので、詳細はお問い合わせください

8/24(水) 下妻市民入場無料デー

日頃のご愛顧とご協力に感謝し、下妻在住の方の入場料を無料とします。当日、砂沼サンビーチ窓口にて、住所が確認できる身分証明書等を提示ください。

イベント情報 お楽しみ抽選会 8月20日(土)

先着550人に抽選券配布、午後抽選会

【問い合わせ】砂沼広域公園管理事務所 ☎43-6661
【公式ホームページ】<http://www.sanumasunbeach.com/>
※幼児招待券がダウンロードできます！

下妻駅⇄砂沼サンビーチ 直行バス

夏休み期間中は毎日運行(往復7便)
運賃：大人 往復400円(片道200円)
子供 往復200円(片道100円)
※小学生まで

【運行バスの問い合わせ】
関鉄パープルバス(株)下妻本社営業所 ☎30-5071

参議院議員通常選挙投票開票結果

7月10日に行われた参議院議員通常選挙の結果についてお知らせします。

茨城県平均投票率…50.77%

■投票結果(茨城県選挙区選出議員選挙)

当日 有権者数	男	17,949人
	女	18,019人
	計	35,968人
投票率	47.55%	

■開票結果(茨城県選挙区選出議員選挙)

候補者氏名	党派	投票数
石原 じゅん子	無所属	1,040
中村 こうき	幸福実現党	208
岡田 広	自由民主党	9,814
ぐんじ 彰	民進党	3,285
小林 きょう子	日本共産党	1,349
むとう ゆう子	おおさか維新の会	972
無効票		435
合計		17,103

問い合わせ 下妻市選挙管理委員会(市総務課内) ☎43-2115

環境保全

不法投棄は犯罪です 「不法投棄防止」街頭キャンペーン実施

県と市は6月21日、道の駅しもつまで「不法投棄防止」の街頭キャンペーンを行いました。県廃棄物対策課と県西県民センター環境・保安課、市生活環境課の職員14人が、「不法投棄110番」を周知する啓発品を配りながら、不法投棄防止を呼び掛けました。

茨城県は、4年連続で不法投棄が多い県1位。不法投棄対策は、早期発見・早期対応が最も重要であることから、不法投棄の発見・通報体制や監視・指導体制の充実強化に力点を置いて対策に取り組んでいます。

■不法投棄110番(フリーダイヤル)

☎0120-536-380(平日8:30~17:30)

※土日祝日は、下妻警察署まで通報してください

下妻警察署 ☎43-0110

県：県西県民センター環境・保安課 ☎24-9127

市：生活環境課 ☎43-8234



道の駅しもつまの買い物客などに不法投棄防止を呼び掛ける県・市職員

環境美化・市民協働

いつまでも安全できれいな川に 「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」実施

ふるさとの鬼怒川・小貝川がいつまでも安全できれいな川になるように、「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」が7月9日の早朝、市内23カ所で行われました。河川周辺の自治会、老人会、子ども会、民間企業などを中心に市民など約1,500人が参加。雨が降る中、河川敷や堤防などのごみを熱心に拾いました。

同クリーン大作戦は、鬼怒川・小貝川の流域市町村と栃木県・茨城県および国土交通省下館河川事務所などで構成する「鬼怒川・小貝川流域ネットワーク会議」の広域イベントの一つとして、また7月が河川愛護月間であることから、沿川住民、河川敷占有者、河川利用者の他、各種団体の協力を得て、河川敷のごみを一掃することにより、常に河川を美しく保ち、正しく安全に利用する運動を推進するものです。今年で26回目を迎えています。



合羽姿で堤防のごみを熱心に拾う参加者(鬼怒川・大形橋上流左岸で)

地域活性化

宝くじ助成事業でコミュニティ活動を推進



エアコンが整備され快適になった公民館での手芸教室



整備された山車、太鼓で演奏する福田はやし保存会のメンバー

福田自治会では、平成28年度宝くじの助成を受けて、エアコン等の公民館備品と太鼓、山車の台車などの祭事用品を整備しました。

福田公民館では手芸教室や夏祭りの打ち合わせが行われ、栗原豊区長は「机や椅子が新しくなり、涼しく快適な公民館となったことで、地域のおんなが集まりやすくなった」と笑顔で話していました。

7月17日の夏祭りでは、新調された太鼓を福田はやし保存会のメンバーが演奏し、新しい台車に乗った山車を子どもたちが引きながら町内を練り歩きました。同会の栗原勝義顧問は「山車の台車が新しくなり、子どもたちの安全性も増した。新調された太鼓で演奏されたお囃子は、地域の方に大変好評で、立派な夏祭りとなり、これまで以上に地域が活性化しました」と喜びの声を聞きました。

この助成は、宝くじの社会貢献広報事業としてコミュニティ活動に必要な施設や備品を整備するために行われるもので、福田自治会では今後も、地域の伝統行事を守りながら、後継者育成や住民間の交流を深めるなど、より一層の地域活性化が期待されます。